

HPV
ワクチン



自分の未来のために考えよう

キャッチアップ接種の開始期限は

2024 年 9 月末まで！

キャッチアップ接種対象者（1997 年度～2006 年度生まれの女性）が HPV ワクチンを公費（無料）で接種完了する場合、**2024 年 9 月末までに 1 回目の接種を済ませておく必要があります。**

HPV ワクチンは 20～30 代の女性に 1 番多い「**子宮頸がん**」に対して高い予防効果があります。

今から病気のことを知り、自分の未来を守るためにもワクチン接種について考えてみましょう。

【Q1 子宮頸がんの原因は？】

HPV（ヒトパピローマウイルス）感染が原因とされています。

このウイルスはごくありふれたウイルスで、生涯に一度は女性の半数が感染するとも報告されています。子宮頸がんの他にも男女ともに発症する肛門がん、中咽頭がん、尖圭コンジローマにも関与するため、諸外国では男性にも HPV ワクチンの接種を勧めています。



【Q2 HPV ワクチンにはどんなリスクがありますか？】

接種した部位の痛みや腫れ、赤みなどの症状（副反応）が起こることがあります。

稀ではありますが、アナフィラキシーショックや失神する人もいるため、接種後 30 分は病院内で安静にしながら経過観察を行います。



【Q3 HPV ワクチンは安全なのですか？】

日本では 2013 年の定期接種開始後、ワクチン接種による「多様な症状」が報告され積極的な接種勧奨が中断されました。しかし、大規模な調査研究の結果、その「多様な症状」の発生はワクチン接種と因果関係がないと報告されています。

WHO（世界保健機関）でも世界中の最新データを継続的に解析し、ワクチンの安全性を示しています。

【Q4 ワクチンは打たずに、がん検診を受ければ大丈夫ですか？】

20 歳になったら
2年に1回
検診を受けよう



検診は早期発見・早期治療が目的のため、がんの発症を防ぐことはできません。子宮頸がんの原因となる HPV 感染は、HPV ワクチン接種による予防が大切です。一方で、子宮頸がんの中には HPV ワクチンでは予防できないタイプもあります。そのため、HPV ワクチン接種と併せて定期的な子宮頸がん検診を受けることが大切になるのです。

◆ 学校医健康相談のお知らせ ◆



◎ 11 月 15 日（水）15：00～17：00 大内みやこ先生

◎ 12 月 22 日（金）15：00～17：00 色川 俊也 先生

1 人 15～20 分程度
費用は無料です

両日ともに予約は空いています。

気になることや心配なことなどありましたらご相談ください。

事前に予約をしておく待ち時間が少なく済みますので、保健室までご連絡をお願いします。

【発行】仙台白百合女子大学 保健室 ☎022-374-5032 / ✉hoken@sendai-shirayuri.ac.jp